

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援						
施策の基本方針								
<p>すべての人が安心して健やかに地域生活を送るため、高齢者と各世代が支え合うぬくもりあふれるまちづくりを進めるとともに、特別養護老人ホームの定員拡大や救急医療体制の整備など、福祉・介護・医療サービスの充実を図ります。また、障がいのある人がいきいきと地域の中で暮らせるよう、それぞれのライフステージに応じて一貫した支援を受けられる体制を整備するとともに、就労促進策の拡充に向けて民間企業と協力して取り組みを進めます。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)					
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)	合計	進捗率(%)
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援								
	地域包括支援センターの増設	438,000	0	0			0	0.0
	認知症サポーター等養成事業	3,000	1,197	767			1,964	65.5
	高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業	16,000	0	0			0	0.0
	孤立死防止・地域連携ネットワーク事業	11,000	2,650	2,900			5,550	50.5
	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)	36,000	3,786	8,952			12,738	35.4
	(仮称)介護支援ボランティア事業の創設	30,000	0	0			0	0.0
	特別養護老人ホームの新築費補助事業	2,346,000	635,000	528,000			1,163,000	49.6
	エコリフォーム促進事業【再掲】	105,000	27,993	100,000			127,993	121.9
	健康と安心を支える医療体制の整備	6,000	3,242	1,974			5,216	86.9
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置	263,000	3,557	35,000			38,557	14.7
	精神科救急医療体制の整備	177,000	0	0			0	0.0
	ほっとけない・こころ推進事業	50,000	20,293	20,983			41,276	82.6
	特定健診を補う付加健診事業	150,000	57,855	26,035			83,890	55.9
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援								
	障がい者相談支援事業の拡充	115,000	6,578	19,769			26,347	22.9
	障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)	1,458,000	20,478	103,000			123,478	8.5
	重症心身障がい者生活介護等受入促進事業	115,000	0	45,000			45,000	39.1
	障がいのある子どもへの移動支援の充実	386,000	0	108,600			108,600	28.1
	障がい者グループホーム等の拡充	124,000	5,896	31,000			36,896	29.8
	歩道のバリアフリー化	6,450,000	2,066,841	1,914,740			3,981,581	61.7
	地域ぬくもりサポート事業	15,000	0	4,500			4,500	30.0
	消費者被害防止ネットワーク事業【再掲】	20,000	5,159	5,294			10,453	52.3
	障がい者協働事業の拡充	166,000	4,396	29,900			34,296	20.7
	元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業	101,000	24,297	24,807			49,104	48.6
	障がい者元気スキルアップ事業	31,000	2,849	8,300			11,149	36.0
	障がい者就業・生活相談支援事業の拡充	109,000	6,595	25,360			31,955	29.3
	知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業	18,000	4,410	4,070			8,480	47.1
重点課題合計		12,739,000	2,903,072	3,048,951	0	0	5,952,023	46.7

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	【障がい者グループホーム等の拡充】減:ケアホーム等新築費補助について、整備を予定していた1法人が整備を辞退したため。 【歩道のバリアフリー化】増:工事の施工を延長したため。
24年度	【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】減:センターの設置工事が24年度から25年度に変更になったため。 【障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)】減:当初の改修計画を見直したことで、事業予定スケジュールに遅れが生じているため。
4年間を通して	

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街				
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援						
地域包括支援センターの増設						
1	地域包括支援センター設置数	21ヵ所	21ヵ所			27ヵ所 (25年度)
認知症サポーター等養成事業						
2	認知症サポーター養成数(累計)	17,227人	26,254人			37,000人
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業						
3	高齢者・障がい者生活あんしん支援センターによる 成年後見事業市長申立業務の実施	—	—			実施 (25年度)
孤立死防止・地域連携ネットワーク事業						
4	市民啓発に参加した人数	1,372人	2,256人			1,400人
はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)						
5	シニアサロン設置数	11ヵ所	13ヵ所			19ヵ所
6	シニアチャレンジ事業実施団体数	17団体	19団体			33団体
(仮称)介護支援ボランティア事業の創設						
7	ボランティア登録人数	—	—			2,000人
特別養護老人ホームの新築費補助事業						
8	特別養護老人ホームの入所定員数	4,356人	4,654人			5,374人
エコリフォーム促進事業						
9	一般住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)	43戸	181戸			150戸
10	賃貸住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)	—	4戸			30戸
健康と安心を支える医療体制の整備						
11	札幌市地域医療体制の整備計画の策定	検討	策定			策定 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置						
12	電話相談窓口の開設	—	—			開設 (25年度)
精神科救急医療体制の整備						
13	1日あたりの空床確保数	1床	1床			2床
ほっとけない・こころ推進事業						
14	自殺予防に関する研修会の参加者数	3,500人	4,919人			4,000人
特定健診を補う付加健診事業						
15	付加健診受診者の割合	—	41.6%			30%

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援							
障がい者相談支援事業の拡充							
16 障がい者相談支援事業所数		16カ所	17カ所				20カ所
障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)							
17 障がい児・者医療・福祉複合施設の整備		—	設計着手				整備 (25年度)
重症心身障がい者生活介護等受入促進事業							
18 看護師配置に対する補助を活用する生活介護事業所数(累計)		—	—				15事業所
障がいのある子どもへの移動支援の充実							
19 就学児の1月あたりの移動支援の平均利用時間		5.44時間	5.98時間				8.87時間
障がい者グループホーム等の拡充							
20 グループホーム等の箇所数		293カ所	335カ所				345カ所
歩道のバリアフリー化							
21 重点整備地区における生活関連経路の歩道バリアフリー化率		24%	33%				60%
地域ぬくもりサポート事業							
22 ボランティアを利用する障がいのある人		—	—				620人
23 ボランティア登録数		—	—				2,000人
消費者被害防止ネットワーク事業							
24 障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数		—	3区				10区 (25年度)
障がい者協働事業の拡充							
25 障がい者協働事業実施事業所数		10カ所	11カ所				20カ所
元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業							
26 受注件数(累計)		182件	418件				750件
27 受注金額(累計)		27,108千円	32,745千円				108,000千円
障がい者元気スキルアップ事業							
28 研修を終えた障がいのある人の就職者数(累計)		—	4人				20人
障がい者就業・生活相談支援事業の拡充							
29 就業・生活相談支援事業所数		2カ所	3カ所				4カ所 (24年度)
30 ジョブサポーター数		—	1人 (23年度)				4人 (24年度)
知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業							
31 ホームヘルパー2級資格取得者数(累計)		19人	31人				100人

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
23	週2回以上外出する高齢者の割合	82.8% (22年度)	81.9% (23年度)				85% (26年度)
		高齢者に対する支援(シニアサロンへの補助や歩道のバリアフリー等)は充実してきているが、高齢者の社会参加状況に大きな変化は見られなかった。					
24	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合	29.8% (参考値) (22年度)	47.9% (23年度)				50% (26年度)
		地域における福祉サービスの充実や、バリアフリーの普及が、数値上昇に寄与したものと思われる。					
25	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合	29.7% (22年度)	23.3% (23年度)				50% (26年度)
		札幌市の障がい者施策について、取り組み内容を市民に十分伝えきれていないことが要因の一つと考えられる。					
社会成果指標							
26	要支援・要介護者数の割合	18.5% (22年度)	18.8% (23年度)				19.1% (26年度)
		高齢者人口に占める後期高齢者(要支援・要介護認定率が高い)の割合は増加しているものの、各種介護予防施策の取り組みなどにより、数値の上昇が抑えられていると考えられる。					
27	仮称)救急安心センターさっぽろの相談受付件数	— (22年度)	—				130人/日 (26年度)
28	障がい者の入所施設における入所者の地域生活への移行者数(H23～26累計)	274人 (19～22年 度累計)	調査中				350人 (23～26年 度累計)
29	福祉施設(就労支援施設など)から一般就労への移行者数	83人 (21年度)	182人 (22年度)				100人 (26年度)
		障がい者協働事業の拡充等に加え、平成22年7月の障害者雇用納付金制度改正により対象となる事業所等の拡大が図られたことが、数値の上昇につながったと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援	
23年度の主な取組内容(実績)		
さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、モデル地区(西・豊平・厚別)にて民間業者との連携による見守り・安否確認活動を実施。	高齢者団体が自主的に行うサロン活動等に対し支援を実施。	
広域型特別養護老人ホーム(定員80人)3カ所、地域密着型特別養護老人ホーム(定員29人)2カ所の整備補助を実施。	医療相談体制の強化や医療・保健・福祉の連携などの取り組みを推進するため、「さっぽろ医療計画」を策定。	
(仮称)救急安心センターさっぽろに関する基本構想を策定。		
24年度の主な取組内容(予定)		
モデル地区(西・豊平・厚別)にて民間業者と連携し、見守り・安否確認活動の継続して実施。	高齢者団体が自主的に行うサロン活動等に対し、継続して支援を実施。	
広域型特別養護老人ホーム(定員80人)4カ所の整備補助を実施。	(仮称)救急安心センターさっぽろに関する運営体制などを検討し、体制を決定。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【孤立死防止・地域連携ネットワーク事業】モデル地域内の孤立死防止に向けた見守り・安否確認の強化のために、協力事業者との間の連携・拡充がなされ、より複合的・重層的な見守り体制の構築につながっている。 【はつらっシニアサポート事業】サロンの設置により高齢者の居場所づくりを進め、また、高齢者団体の地域貢献活動に対して支援を行うことで、高齢者の社会参加や地域貢献活動促進につながっている。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】医師会、看護協会などの関係団体と連携・協力し、センターのあり方やプロトコルを検討していく。 【精神科救急医療体制の整備】25年度より精神科救急の空床を2床に増やし、精神科救急医療体制を整備することにより、「障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合」の向上につなげていく。		
施策2	障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援	
23年度の主な取組内容(実績)		
障がい者相談支援事業所を1カ所新設。	静療院(成人部門)跡施設の改修にかかる基本・実施設計に着手。	
障がい者グループホームの設置に補助。	北2条線など歩道のバリアフリー整備を実施。	
障がい者を5名以上雇用する事業所12カ所に対し、補助を実施(新規2カ所、継続10カ所)。	障がい者向けの就労セミナー(4回)や企業向けのセミナー(2回)を実施。	
障がいのある人の雇用促進のため、就業・生活相談支援事業所を1カ所増設。ジョブサポーターを1名配置。		
24年度の主な取組内容(予定)		
障がい者相談支援事業所を1カ所新設。	静療院(成人部門)跡施設の改修工事に着手。	
重症心身障がい者を受け入れるために看護師を配置した生活支援事業所へ補助。	障がい児に対し、移動支援の対象範囲を通学時の利用可能に拡充。	
障がい者グループホームの設置に継続して補助。	北5条線など歩道のバリアフリー整備を実施。	
障がい児・者に対する地域住民による有償ボランティア活動を推進するモデル事業を実施。	障がい者を5名以上雇用する事業所15カ所に対し、補助を実施(新規3カ所、継続12カ所)。	
障がい者向けの就労セミナー(10回)や企業向けセミナー(2回)の開催を継続。	障がいのある人の雇用促進のため、就業・生活相談支援事業所を1カ所増設。ジョブサポーターを3名配置。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【障がい者相談支援事業の拡充】相談支援事業所の新設により、障がいのある人の地域生活を支援する相談支援体制の充実を図ることができ、障がいのある方の環境向上に寄与することができた。 【障がい者協働事業の拡充】本事業は障がい者と雇用契約を締結することが要件であることから、協働事業を行う事業所数の増加により、障がいのある方の就労の場を確保することにつながった。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【障がいのある子どもへの移動支援の充実】障がいのある児童の通学機会の確保及び保護者の就労促進により、地域で暮らす障がいのある人の生活向上を図る。 【歩道のバリアフリー化】バリアフリー化された歩道のネットワーク構築の早期完成を目指すとともに、ホームページなど広く市民へ情報提供できるコンテンツの充実を図る。		

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
協働の状況		
【孤立死防止・地域連携ネットワーク事業】新聞販売店や配食業者等と連携し、複合的な見守り・安否確認システムの構築を進めた。		
【障がい者元気スキルアップ事業】障がい者雇用を行っている、または検討している企業への人材提案をしたり、企業からの障がい者雇用相談に応じることで、企業の障がい者雇用促進を図った。		
【知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業】広報さっぽろに説明会開催案内を掲載するほか、札幌市立豊明高等養護学校及び北海道札幌高等養護学校にて説明会を実施することで、市民への参加促進につなげた。		